

## 事業実績報告書

様式2  
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-15	講座名	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう！～
記載日	2021/9/14	団体名・企業名	NPO法人藤前干潟を守る会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

実際に干潟に入って生きもの触れ合うことにより、今までただの泥のとしか見えなかった干潟に、驚くほど多種多様な生きものが生息していることを知ってもらう。そして、上流からの栄養が小さな命を育み、まわりまわって大きくなった魚などを私たち人間が食べるという「命のつながり」についても伝え、干潟はもちろんのこと、上流を含めた流域全体の環境を守る重要性に気づいてもらう。さらに、藤前干潟が国際的にも重要な湿地であることも伝え、渡り鳥たちの命をささえていることを伝える。



#### ※写真1の説明

6月26日(土)英語のみ話すプログラムを開催。泥んこになって遊ぶ幼児の姿が印象的。

#### ※写真2の説明

8月22日(日)曇天で風もあり干潟に居るのが気持ちよかった。干潟の上で生きもの紹介中。

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

コロナ禍での講座実施も2年目。デルタ株の猛威の中、細心の注意を払っての開催となった。着席の場合は家族単位とし、生きもの観察もできるだけ外で(そのまま干潟で、または室外に机を出して)説明するように務めた。参加希望が殺到して電話がつながらないというご指摘もいただき、途中から「抽選」という形をとった。原則としてメールでの受付としたが、迷惑メールに入ってしまったたり、こちらのPCからのメールが届かなかったりと、色々な問題が発生し、思いのほか労力を要している。また今年は雨が多かったうえに潮の引きが悪く、条件的にはかなり厳しい半年だったが、皆さんに楽しんでもらえ、無事に終えることができてホッとしている。

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・満潮干潮を肌で感じて、自分の目で見て、とったものを教えてもらった。又、これはもう死んでる貝かな?と思ったものも、これは生きていますよと教えてもらった(ソトオリガイ)。知らない貝がいると知っておもしろかった。
- ・ It was fun especially for the kids playing in the mud and catching some sea creatures.
- ・ 答えをあえて教えず、考えさせるところがよかった。
- ・ 干潟の生き物にもふれること自体も楽しかったが、生態なども知ることが出来、とても勉強になった。